

事業実績報告書

事業名	アジア太平洋地域における災害対応等のソーシャルワーク実践に関するシンポジウム及びワークショップ開催事業
事業の実施状況	<p>1. アジア太平洋地域における災害防止・災害被害の拡大を防ぐためのソーシャルワーク実践に関するシンポジウム及びワークショップの開催</p> <p>アジア太平洋地域の各国ソーシャルワーカー団体の組織化や人材ネットワークの構築、アジア太平洋地域における災害時の連携、災害後の心理的ケアに関する研修・訓練ならびにネットワーク体制の強化等を目的として、2回開催した。</p> <p><第1回></p> <p>[開催国] インドネシア [場 所] プスディクラト・マルガグナ研修センター（ジャカルタ市） [日 程] 2016年1月12日（火）～14日（木） [参加者] 約60人（フィリピン、マレーシア、バングラデシュ、インドネシア、日本） [被派遣者] 大島 了（日本社会福祉士会）、中島康晴（日本社会福祉士会） [報告記事（英文）] <報告>大島 了 http://ifsw.org/wp-content/uploads/2016/02/JCB-Report.pdf</p> <p><第2回></p> <p>[開催国] フィリピン [場 所] プエルト・プリンセサ市 [日 程] 2016年3月2日（水）～4日（金） [参加者] 約180人（フィリピン、日本） [担 当] 小原真知子（日本医療社会福祉協会）、片岡信之（日本精神保健福祉士協会） [報告記事（英文）] <報告>片岡信之 http://ifsw.org/wp-content/uploads/2016/02/JCB-Report-1.pdf</p> <p>2. アジア太平洋ソーシャルワーク会議 2015 における事業紹介等</p> <p>アジア太平洋ソーシャルワーク会議 2015（タイ・バンコク市／2015年10月22日（木）～24日（土））に木村真理子氏（企画委員長／日本精神保健福祉士協会）を派遣し、本事業の開催国代表者への挨拶や関係者への実施目的等の紹介・周知を図るとともに、インドネシア及びフィリピンの近隣国からの参加を呼びかけた。</p> <p>3. インターネットによる事業実績の周知・共有及び記録集の作成</p> <p>1) 国際ソーシャルワーカー連盟及び IFSW アジア太平洋地域のウェブサイト及び Facebook への事業報告の掲載</p>

	<p>国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）及びIFSWアジア太平洋地域の協力を得て、インドネシア及びフィリピンでの事業実績をウェブサイト及びFacebookに掲載し、アジア太平洋地域のソーシャルワーカーをはじめ関係者に本事業の成果等を広く周知・共有した。</p> <p>[URL] http://ifsw.org/ifsw-asia-pacific/event-project-reports/ [Facebook] https://www.facebook.com/pages/IFSW-Asia-Pacific</p> <p>2) 電子メディアによる記録集の作成</p> <p>事業実績に係る関係資料を収載したCD-Rを作成（220枚）し、社会福祉専門職団体協議会構成4団体の都道府県組織に配布するとともに、2016年6月に韓国・ソウル市で開催されるソーシャルワーク、教育及び社会開発に関する合同世界会議2016等で活用する。</p> <p>4. 企画委員会の設置及び開催地への委員等の派遣</p> <p>社会福祉専門職団体協議会構成4団体の関係者による企画委員会を設置し、プログラムの立案、講師等との調整、運営体制の確認、開催地となるソーシャルワーカー団体との連絡調整等を行うとともに、委員等を開催地に派遣した。</p> <p>なお、委員会への出席に係る交通費は所属団体が負担し、遠方の委員においてはインターネットのビデオ通話機能（Skype）を利用して会議に参加する形態で実施した。</p> <p><企画委員長：1人> 木村 真理子（日本女子大学／日本精神保健福祉士協会）</p> <p><企画委員：7人> 大島 了（麻布地区ふれあい相談室／日本社会福祉士会） 富田 明裕（諫早療育センター／日本社会福祉士会） 平田 美智子（和泉短期大学／日本社会福祉士会） 片岡 信之（四国学院大学／日本精神保健福祉士協会） 小原 眞知子（日本社会事業大学／日本医療社会福祉協会） 高嶺 豊（琉球大学／日本ソーシャルワーカー協会） 春見 静子（日本ソーシャルワーカー協会）</p> <p><事務局：2人> 荒木 千晴（日本社会福祉士会専従職員／事業担当） 坪松 真吾（日本精神保健福祉士協会専従職員／財務担当）</p> <p><協力団体> Ikatan Pekerja Sosial Profesional Indonesia（IPSPI）／インドネシア・ソーシャルワーカー協会 Philippine Association of Social Workers, Inc.（PASWI）／フィリピン・ソーシャルワーカー協会</p>
事業の成果	<p><インドネシアにおける事業の成果></p> <p>災害時に心理社会的支援を提供するソーシャルワーカーの役割とスキル強</p>

化を目的に開催した。

基調講演は、インドネシア社会省社会的保護・社会保障局長がインドネシアの災害管理に関する同省の取り組みと災害対応時の心理社会的支援の実施について講演した。日本からも災害管理に関する経験を発表した。

また、プログラム学習の部として、実践の共有と災害時の心理社会的支援の提供現場からの学びと、同時進行の分科会ではディスカッションが続いた。

更に、スキル習得の部として、心理社会的力量を向上するためのワークショップ・セッションは2グループに分かれ、心理社会的支援プログラムの実施経験をもつ2施設を訪問（西ジャワ島のボゴールにある土砂崩れ被害者のための仮設住宅、ジャカルタのカンプン・プロにある避難者のための住宅）した。

今回のプログラムにより、災害時の心理社会的支援に関するソーシャルワーカーの力量向上、研修内容の開発、力量及びサービス基準の確立にむけた一助となったと考える。

<フィリピンにおける事業の成果>

行政の防災・災害対策の紹介、行政と住民のパートナーシップ、心理的・精神的支援、女性、障害者、子ども、衛生、住宅の問題など多岐にわたり、災害支援の多くの側面をカバーするプログラムとなった。

報告者も、ソーシャルワーカー、研究者、行政職員、ユニセフ職員、空軍の軍人、消防士など多彩であった。どの報告者も優れたプレゼンテーション力を持ち、聴衆たる参加者を引きつけ、熱意あふれる話しぶりで語りかけた。参加者もそれに反応し発言も多く、学習への熱意が大いに伝わった。

今回のプログラムは、研究を深化させるというより情報や考え方を伝える啓発的な内容が多く、災害時のレジリエンスを育てる目的と意図がワークショップを通じて参加者に浸透させることができたと考える。